

なった。

①Web 登録システムであるから、指定のサイトにアクセスし、試験運用可能であった。また、このためシステムの改良は、登録サイトを改変するだけなので、容易にバージョンアップすることが可能であった。

②バックアップが不要であること。サーバにデータが収納されているので、ユーザー側でデータのバックアップが不要になり、USB メモリーで運用する際の不安がなくなった。同時に、USB メモリーを損失してしまう危険性もなくなった。

③多人数での入力が可能になった。Webでのシステムでは、ユーザー名が登録されていれば、どこでも、誰でも登録が可能である。

④PC システム、ブラウザに依存しない。Windows (どのバージョンでも可) であれ Mac であれ、稼動する。また、ブラウザは、Internet Explorer6、IE7、IE8、Firefox 等を使うことが出来、自由度が高い。

⑤ユーザー管理能力があり、ユーザー名とパスワードを登録、管理し、各ユーザー毎に、アクセス権限を設定できるため、事務局でのデータ取り扱い、各施設での取り扱いなど、自由に設定することが出来た。

2. 新システム始動

(1) 実際の肝移植症例の試験入力と画面の最終改訂

Web 入力画面にアクセスして実際の肝移植症例の入力を行い、画面・入力方法等の最終調整を行った。分担研究者／研究協力者（日本肝移植研究会及び日本移植学会の登録委員：大阪大学、岡山大学、九州大学、国立成育医療センター、東京大学、名古屋大学等）が各々の施設のコンピュータからアクセスして行った。この結果を基に、原疾患の分類法、術後免疫抑制療法についての入力方法、ABO 血液型不適合移植の際の登録項目、等々について更に改訂を加え、最終的な入力画面を確定した。

(2) 肝移植実施施設への web 登録説明会

本邦の全ての肝移植実施施設を対象として、第 47 回日本移植学会総会会期中の平成 23 年 10 月 6 日に、同学会の開催されている仙台国際センターにおいて、web 登録に関する説明会（第 2 回）を行った。湯沢分担研究者が実際の画面を提示しつつ入力法の詳細を説明し、また、質疑応答を行った。

(3) Web 登録の始動

平成 23 年 12 月に各肝移植実施施設について入力責任者等の登録を行い、平成 24 年 1 月 1 日より web 登録を始動した。現在着実に登録症例が集積されつつある。また、登録を行った各施設から入力画面等についての意見が寄せられているので、これらを集約し、一定の時点でシステムの改訂を行う予定である。

●他臓器+組織

他の臓器移植登録システムは、Web 登録への移行を行うための準備を行った。すなわち、研究分担者として加わった各臓器移植研究会の登録担当者を中心に、研究会において従来の登録・追跡項目の見直しを始めた。また、新たにドナーの登録・追跡項目を検討した。これらは、各臓器移植研究会での承認が必要なため、決定には至っていない。また、従来の各臓器移植の登録のシステムとスケジュールを明らかにし、Web 化するうえでの問題点と次年度以降の具体的なスケジュールを検討した。結果的には、これら他の臓器移植は症例数が少なく、実施施設も限られ、研究会も良くまとまっているので、JARTRE-W、LITRE-J よりは容易に移行できると考えられた。

組織移植については、平成 19～21 年本補助金研究「臓器移植の社会的基盤に関する研究」（研究代表者：篠崎尚史）によって得られたスキンバンクネットワークシステムの Web 登録の問題点から、全ての組織移植症例の登録システム問題点

を明らかにした。そして、この登録・追跡システムに組織移植として一元化するための問題点を明らかにした。

4. 残された課題

腎臓と肝臓の Web 登録・追跡システムの完成、本稼働とともに、データを格納するサーバーの保守、セキュリティ管理の問題が最後まで残った。今年度は研究事業として、本研究班の研究経費からサーバーに関する経費を捻出し、サーバーは一般企業 (Medical Data Base サービス会社) に置いて維持した。しかし、将来的に考えると、本研究班は永久に継続するものではなく、サーバーを維持すべきものではない。また、日本移植学会がサーバーを維持すべきものでもない。この全ての臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡をおこなうサーバーのセキュリティの維持、保守管理を何処で、誰が行うべきかということとは大きな問題である。次年度以降、本研究組織が終了するまでに解決しなければならない課題として残した。

D. 考察

臓器と組織の移植医療はドナーがあって成り立つ医療で、他の医療と大きく異なる。さらに、臓器移植では大部分が健康生体からの提供であるが、亡くなったドナーからの臓器と組織の移植は第三者からの提供となる。これまで、臓器移植では各臓器の研究会で登録・追跡調査されてきた。組織移植では、各アイバンク・スキンバンクが個別に登録してきたのみで、全国的な登録、追跡調査はされてこなかった。一方で、日本臓器移植ネットワークでは、亡くなったドナーから提供され移植されたレシピエントについては完全に登録し、追跡調査してきた。しかし、生体ドナーについては何も行われていなかった。第三者を含んだドナーから提供された臓器や組織で成り立つ移植医療であるからこそ、完全なトレーサビリティが求められ、レシピエントのみならずドナーの完全な登録と追跡システム

が必要と考えられる。

2008年春のイスタンブールサミット宣言で、生体ドナーについては、ドナー保護の観点から生涯にわたって追跡しなければならないとされたが、世界的にこれを完全に遂行出来ている国はない。我が国が世界に先駆けて、レシピエントのみならず、全ドナーの生涯にわたった追跡調査を行うことは、世界的に注目されることであり、世界に発信される大きな成果と期待される。全臓器・組織移植の一元的 Web 登録・追跡システムを構築することにより、安全で信頼性の高いシステムを維持していくことができる。これらを通して、ドナー及びレシピエントの安全性確保とQOL向上をもって、臓器・組織移植医療の成績向上並びに発展、普及を期待することができる。その第一歩が、今年度始まった。

E. 結論

USB メモリーを用いた腎移植登録システム JARTRE を完全に Web 化し、JRTRE-W を完成させ、新規登録を開始した。肝移植登録システム LITRE-J は、今年度に本稼働を開始し、新規登録を開始した。他の臓器移植登録システムは、Web 登録移行の準備を行った。組織移植については、症例登録システム問題点を明らかにした。最後に、全臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡をおこなうサーバーをどうするかという問題を、大きな検討課題として残した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 腎移植臨床登録集計報告 (2011) -1
2010 年実施症例の集計報告 日本臨床腎移植学会、日本移植学会 移植 46 巻 4・5 号 313-318 2011
2. 腎移植臨床登録集計報告 (2011) -2
2010 年実施症例の集計報告 (2) 日本臨床腎移植学会 移植 46 巻 6 号

- 506-523 2011
3. 肝移植症例登録報告 日本肝移植研究会 移植 46 巻 6 号 524-536 2011
 4. Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kanmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka. (in press) Transplantation Proceedings, 2012

2. 学会発表

1. 八木澤隆：日本臨床腎移植学会教育セミナー「慢性腎不全と腎移植統計」、2011年7月10日、東京
2. 八木澤隆：透析医療従事者研修講演、「腎移植」、2011年7月16日、大宮
3. 八木澤隆：日本移植学会教育セミナー「各臓器移植の現状：腎臓」、第47回日本移植学会、2011年10月6日、仙台
4. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kenmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka, Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan; 12th Congress of the Asian Society of Transplantation 2011, Seoul, Korea
5. 新たな腎移植新登録システム インターネット登録へ 日本臨床腎移植学会 登録委員会 日本移植学会 登録委員会 2012年2月2日 第45回日本臨床腎移植学会、軽井沢
6. 腎移植登録からみた我が国のNODATの現状 第35回 大阪腎移植病理組織研究会 2011年12月16日 兵庫県西宮市
7. 剣持 敬. 移植学会調査からみたCKDステージ5Tの実態(シンポジウム). 第56回日本透析医学会. 2011.6.17 (横浜市)
8. 剣持 敬. 腎移植レジストリーから

みた我が国の腎移植の現状（特別講演）. 第23回東海北陸腎不全治療研究会. 2012.2.25（名古屋市）

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許所得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

業績

高原 史郎

1. Takabatake Y, Li XK, Mizui M, Miyasato K, Matsui I, Kawada N, Imai E, Nig TH, Takahara S, Wada T, Furuichi K, Rakugi H, Isaka Y. A superagonistic monoclonal antibody for CD28 ameliorates crescentic glomerulonephritis in Wistar-Kyoto rats. *Mol Med* 2011; 17:686-96.
2. Xie L, Li X-K, Takahara S. Curcumin has bright prospects for the treatment of multiple sclerosis. *Int Immunopharmacology*. 2011; 11:323-330
3. Miyasato K, Takabatake Y, Kaimori J, Kimura T, Kitamura H, Kawachi H, Li XK, Hunig T, Takahara S, Rakugi H, Isaka Y. CD28 superagonist-induced regulatory T cell expansion ameliorates mesangioproliferative glomerulonephritis in rats. *Clin Exp Nephrol* 2011; 15: 50-57.
4. Okumi M, Kawada N, Ichimaru N, Kitamura H, Abe T, Imamura R, Kojima Y, Kokado Y, Isaka Y, Rakugi H, Nonomura N, Moriyama T, Takahara S. Safety and efficacy of administering the maximal dose of candesartan in renal transplant recipients *Clinical and experimental nephrology* 2011.8
5. 日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告. 移植. 2011; 46(4・5): 313-317.
6. 日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2) 移植 46巻6号 506-523 2011
7. 高原史郎、小林英司、篠崎尚史. 【臓器移植の新時代】 新しい社会基盤の整備に向けて イスタンブール宣言後のWHO・国際移植学会の取組み. *医学のあゆみ* 237巻5号 368-372 2011

8. 高原史郎、市丸直嗣. 【献腎摘出 改正臓器移植法に対応して】 改正臓器移植法で変わる臨床現場. *腎移植・血管外科* 23巻2号 4-7 2011
9. 小角幸人, 高原史郎, 野々村祝夫, 勝岡洋治, 東治人, 仲谷達也, 山口誓司, 江左篤信, 金卓, 植村天受, 石井徳味, 西岡伯, 松田公志, 阪口勝彦, 客野宮治, 原恒男, 熊田憲彦, 長濱寛二 大阪府で行われた腎移植に関する実態調査. *大阪透析研究会会誌*. 29巻2号 203-214.2011
10. 佐藤壯、高原史郎. 実験講座 donor-specific HLA antibody の検索法 *Surgery Frontier*. 18巻4号 407-412

湯沢 賢治

1. 日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告. 移植. 2011; 46(4・5): 313-317.
2. 日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2) 移植 46巻6号 506-523 2011
3. 湯沢賢治. 3. 腎移植システム JARTREについて、4. JARTREの2009年の運用実績、5. JARTREの更新、6. 残された課題、8. 日本の進むべき方向. 日本の臓器移植症例登録システム. 2011; 22-25, 30-31, 33-34
4. Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kanmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka. (in press) *Transplantation Proceedings*, 2012

学会発表

1. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kanmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita,

- Morito Monden, Satoshi Teraoka, Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan; 12th Congress of the Asian Society of Transplantation 2011, Seoul, Korea
2. 新たな腎移植新登録システム インターネット登録へ 日本臨床腎移植学会 登録委員会 日本移植学会 登録委員会 2012年2月2日 第45回日本臨床腎移植学会、軽井沢
 3. 腎移植登録からみた我が国のNODATの現状 第35回大阪腎移植病理組織研究会 2011年12月16日 兵庫県西宮市

剣持 敬

1. 剣持 敬 (日本移植学会登録委員会). わが国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績 (2011). 移植 46(6):501-505, 2011
2. 剣持 敬. 日本移植学会 2010年症例登録統計報告. 移植 46(6):500, 2011

学会発表

1. 剣持 敬. 移植学会調査からみたCKDステージ5Tの実態 (シンポジウム). 第56回日本透析医学会. 2011.6.17 (横浜市)
2. 剣持 敬. 腎移植レジストリーからみた我が国の腎移植の現状 (特別講演). 第23回東海北陸腎不全治療研究会. 2012.2.25 (名古屋市)

高橋 公太

1. K. Sugiyama, K. Lsogai, A. Toyama, H. Satoh, K. Saito, Y. Nakagawa, M. Tasaki, K. Takahashi, And T. Hirano. Correlatio between the pharmacological efficacy of cyclosporine and tacrolimus as evaluated by the lymphocyte immunosuppressant sensitivity test (LIST) and the MTT assay procedure in patients before and after renal transplantation : International

- Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics Vol.49 No.2 p145-152 2011
2. Takashi Kasahara, Tsutomu Nishiyama, Masaaki Kaneko, Kei Arai, Tsutomu Anraku, Kota Takahashi. Retroperitoneoscopic nephrectomy using a GelPort as the main access platform with a muscle-splitting approach : initial clinical experience. Japanese Journal of Endourology Vol.24 No.1 p83 ~ p87 2011 日本泌尿器内視鏡学会誌
 3. Takaki Mizusawa, Noboru Hara, Kenji Obara, Etsuko Isahaya, Yuki Nakagawa, and Kota Takahashi. Clinical Feature of Men Who Benefit from Dose Escalation of Naftopidil for Lower Urinary Tract Symptoms: A Prospective Study. Advances in Urology Volume 2011 Article ID 804583, 7 pages 2011
 4. 高橋公太 ABO血液型不適合腎移植なぜ超急性拒絶反応は発生しないのか Organ Biology Vol.18 No.1 p11 ~p32 2011

篠崎 尚史

1. Groth S, Noël L, Matesanz R, Dominguez-Gil B, Chapman J, Delmonico F, Jacquelinet C, Levin A, Vivekanand J, Ahn C, Alejandro Torres M, Núñez JR, Delmonico F, Dominguez-Gil B, Shaheen F, Gill J, Rahmel A, Shinozaki N, Capron A, Manara A, O'Callaghan G, Chapman J, Obrador G, Singh H, Biller Andorno N, Garcia-Gallont R, Moazam F, Noël L, Rudge C, Vathsala A, Dominguez-Gil B, Manyalich M, Martin D, White S, Abela CJ, Aguiar MJ, Akinsola A, Al-Mousawi M, Saldías IÁ, Rodriguez MA, Ashkenazi T, Ashuntantang G, Avsec-Letonja D, Salah Ben Ammar M, Brezovský P, Bušic M, Carmona M, Coene L, Coll E, Constable F, Danninger F, Danovitch

- G, De Frutos Sanz Á, Del Río FJ, Deulofeu R, Dhitavat V, Di Fabio JL, Diouf B, Doyle P, Duro Garcia V, Dzhaleva T, Ehtuish E, Ezekiel L, Gautier S, Ghadiok G, Gompou A, Groth C, Grunnet N, Gupta S, Hafner V, Hilal Abdou M, Jakobsen A, Kirste G, Kúusvek A, Kwek TK, Kyriakides G, Soon KK, Lausevic M, Leichtman A, Magnússon S, Mahillo B, Mahipala PG, Maio R, Mangan TP, Marazuela R, McCartney TB, Mehta G, Metwalli N, Minina M, Morales Billini F, Moreno E, Müehlbacher F, Muller E, Nanni Costa A, Nathan HM, Ndihokumbayo JB, Niño Murcia A, O'Callaghan G, O'Connor K, Odongo I, O'Neill F, Oosterlee A, Ott MO, Øyen O, Pavlou A, Perner F, Perojo L, Procaccio F, Reis Nothen R, Reznik O, Hasan Rizvi SA, Luis Rojas J, Rosendale J, Rowinski W, Rozental R, Saeed B, Salmela K, Sánchez Ibáñez J, Saxena M, Schlitt HJ, Sharma V, Srivastava RK, Susalit E, Szabó Z, Takahara S, Tibell A, Tsoulfas G, Valdivieso López A, Vandewoude K, Vera E, Wahyuningsih A, Wang H, West LJ, Wikler D, Yongfeng L, Young K, Zota VG, Zafalon G, Shen Z. Third WHO Global Consultation on Organ Donation and Transplantation: striving to achieve self-sufficiency, March 23-25, 2010, Madrid, Spain Transplantation, 2011 Jun 15, 91 Suppl 11: S27-28
2. 篠崎尚史 「イスタンブール宣言以降の組織の取り扱い」 HAB NEWS LETTER Vol.17 No.2, 2011
 3. 篠崎尚史 「臓器移植の社会的基盤構築」 医学のあゆみ 237(5):363-367, 2011
 4. 篠崎尚史 「ドナーアクションプログラム-良質で確実な臓器提供をめざした院内体制の構築」 医学のあゆみ, 237(5):381-388, 2011
 5. 篠崎尚史 「移植コーディネーターのコミュニケーション教育の検討」

移植 46(suppl):263-263, 2011

学会発表

1. 篠崎尚史 「特別企画 2 これからの10年にもとめられるもの」、日本組織移植学会総会、8/6/2011

八木澤 隆

1. 日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告. 移植. 2011; 46(4・5): 313-317.
2. 日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子 腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2) 移植 46巻6号 506-523 2011

学会発表

1. 八木澤隆: 日本臨床腎移植学会教育セミナー「慢性腎不全と腎移植統計」、2011年7月10日、東京
2. 八木澤隆: 透析医療従事者研修講演、「腎移植」、2011年7月16日、大宮
3. 八木澤隆: 日本移植学会教育セミナー「各臓器移植の現状: 腎臓」、第47回日本移植学会、2011年10月6日、仙台

三重野 牧子

1. 日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告. 移植. 2011; 46(4・5): 313-317.
2. 日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子 腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2) 移植 46巻6号 506-523 2011
3. Mieno MN, Yamaguchi T, Ohashi Y. Alternative statistical methods for estimating efficacy of interferon beta-1b for multiple sclerosis clinical trials. BMC Medical

Research Methodology 2011; 11: 80.

4. Waki K, Sugawara Y, Tamura S, Mieno MN, Yamashiki N, Kadowaki T, Kokudo N. Outcome of liver transplantation for recipients with hepatitis B and hepatitis C virus coinfection: Analysis of the UNOS data. Transplantation 2011; 92(7): 809-814.

学会発表

1. 服部元史, 三重野牧子, 相川厚, 大島伸一, 宍戸清一郎, 高橋公太, 長谷川昭, 吉村了勇. 日本小児腎移植臨床統計小委員会報告: 本邦における小児 ABO 血液型不適合腎移植の状況. 第 47 回日本移植学会総会, 仙台, 2011 年 10 月 5 日.
2. 平野哲夫, 堀田記世彦, 原田浩, 三重野牧子, 藤生寛平, 中山恭伸, 小野美和子. 北海道における腎臓移植の現況報告. 第 80 回北海道透析療法学会, 札幌, 2011 年 11 月 27 日.

北田 秀久

1. 寺坂壮史, 北田秀久, 岡部安博, 三浦敬史, 栗原啓, 川浪さやこ, 加来啓三, 野口浩司, 宮本京子, 土本晃裕, 田中雅夫. 生体腎移植における FCXM T(+)/B(+) MHC:Major Histocompatibility complex 18(2):146
2. 栗原啓, 北田秀久, 岡部安博, 三浦敬史, 寺坂壮史, 加来啓三, 野口浩司, 川浪さやこ, 宮本京子, 田中雅夫. 生体腎移植における FCXM 法陽性症例の検討 (会議録)
3. 岩瀬正典, 北田秀久. 膵臓、膵島移植の現状と将来 Visual 糖尿病臨床のすべて 1(初1版) :251-259 2011 MHC:Major Histocompatibility complex 18(2):144 2011
4. Nishiki T, Kitada H, Okabe Y, Kurihara K, Kawanami S, Tanaka M. Effect of milrinone on ischemia-reperfusion injury in the rat kidney. Transplant Proc.

43(5)1489-1494 2011

渡井 至彦

1. Enzymatic assay method for measuring mizoribine levels in serum. Hiramitsu T, Ota H, Watarai Y, Achiha M, Fukami H, Sakasegawa SI, Hino E, Yamaguchi T, Ueda S, Kagimoto Y, Tamura T, Uchida K. J Biosci Bioeng. 2011 Apr 27.
2. Clinical significance of regulatory T-cell-related gene expression in peripheral blood after renal transplantation. Iwase H, Kobayashi T, Kodera Y, Miwa Y, Kuzuya T, Iwasaki K, Haneda M, Katayama A, Takeda A, Morozumi K, Watarai Y, Uchida K, Nakao A. Transplantation. 2011 Jan 27;91(2):191-8.
3. Significant association between chronic antibody-mediated rejection and donor-specific antibodies against HLA-DRB rather than DQB in renal transplantation. Kobayashi T, Maruya E, Niwa M, Saji H, Kohara S, Katayama A, Takeda A, Watarai Y, Uchida K. Hum Immunol. 2011 Jan;72(1):11-7.
4. 渡井至彦. 献腎移植で先行的腎移植を行うことの問題点 末期腎不全の治療と先行的腎移植—透析療法前の献腎移植希望登録のガイドライン作成を目指して— P67-70, 日本医学館 2011.

市丸 直嗣

- 1: Horio M, Yasuda Y, Kaimori J, Ichimaru N, Isaka Y, Takahara S, Nishi S, Uchida K, Takeda A, Hattori R, Kitada H, Tsuruya K, Imai E, Takahashi K, Watanabe T, Matsuo S. Performance of the Japanese GFR equation in potential kidney donors. Clin Exp Nephrol. 2012 Jan 24.
- 2: Kojima Y, Ichimaru N, Takahi Y, Morimoto A, Katayama S. [Primary carcinoid tumor of the kidney: a

- case report]. Hinyokika Kyo. 2011 Nov;57(11):619-22.
- 3: Xie L, Ichimaru N, Morita M, Chen J, Zhu P, Wang J, Urbanellis P, Shalev I, Nagao S, Sugioka A, Zhong L, Nonomura N, Takahara S, Levy GA, Li XK. Identification of a novel biomarker gene set with sensitivity and specificity to distinguish between allograft rejection and tolerance. Liver Transpl. 2011 Dec 7.
 - 4: Kawamura N, Takao T, Nagahara A, Mukai M, Fukuhara S, Yoshioka I, Ichimaru N, Takayama H, Miyagawa Y, Tsujimura A, Okuyama A. [A case report of retrocaval ureter associated with right ureteral tumors]. Hinyokika Kyo. 2011 Oct;57(10):565-7.
 - 5: Xie L, Yamasaki T, Ichimaru N, Yui J, Kawamura K, Kumata K, Hatori A, Nonomura N, Zhang MR, Li XK, Takahara S. [(11)C]DAC-PET for Noninvasively Monitoring Neuroinflammation and Immunosuppressive Therapy Efficacy in Rat Experimental Autoimmune Encephalomyelitis Model. J Neuroimmune Pharmacol. 2012 Mar;7(1):231-42.
 - 6: Okumi M, Kawada N, Ichimaru N, Kitamura H, Abe T, Imamura R, Kojima Y, Kokado Y, Isaka Y, Rakugi H, Nonomura N, Moriyama T, Takahara S. Safety and efficacy of administering the maximal dose of candesartan in renal transplant recipients. Clin Exp Nephrol. 2011 Dec;15(6):907-15.
 - 7: Kakuta Y, Okumi M, Isaka Y, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Ichimaru N, Matsumura K, Hyon SH, Takahara S, Nonomura N. Epigallocatechin -3-gallate protects kidneys from ischemia reperfusion injury by HO-1 upregulation and inhibition of macrophage infiltration. Transpl Int. 2011 May;24(5):514-22.
- 矢澤 浩治
1. Kakuta Y, Okumi M, Miyagawa S, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Matsumura K, Otsuka H, Takahara S, Nonomura N. Blocking of CCR5 and CXCR3 Suppresses the Infiltration of Macrophages in Acute Renal Allograft Rejection. Transplantation. 2011 Nov 23
 2. Kakuta Y, Okumi M, Isaka Y, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Ichimaru N, Matsumura K, Hyon SH, Takahara S, Nonomura N. Epigallocatechin-3-gallate protects kidneys from ischemia reperfusion injury by HO-1 upregulation and inhibition of macrophage infiltration. Transpl Int. 2011; 24(5):514-22.
- 木内 哲也
1. Ogawa H, Fujimoto Y, Yamamoto K, Hata T, Nagai S, Kamei H, Arikawa T, Nakamura T, Kiuchi T. Donor screening algorithm for exclusion of thrombophilia during evaluation of living donor liver transplantation. Clin Transplant. 2011; 25(2): 288-82.
 2. Torii Y, Kimura H, Ochi N, Kaneko K, Ando H, Kiuchi T, Ito Y. Immunogenicity of inactivated 2009 H1N1 influenza vaccine in pediatric liver transplant recipients. Vaccine 2011; 29(25): 4187-9.
 3. Ito Y, Kawabe S, Kojima S, Nakamura F, Nishiyama Y, Kaneko K, Kiuchi T, Ando H, Kimura H. Identification of Epstein-Barr virus-infected CD27+ memory-B cells in liver or stem cell transplant patients. J Gen Virol 2011; 92(Pt 11): 2590-5.

4. Ishigami M, Kamei H, Nakamura N, Katano Y, Ando H, Kiuchi T, Goto H. Different effect of HBV vaccine after liver transplantation between chronic HBV carriers and non-HBV patients who received HBcAb-positive grafts. *J Gastroenterol.* 2011; 46(3): 367-77.
5. Ishigami M, Onishi Y, Ito T, Katano Y, Ito A, Hirooka Y, Kiuchi T, Goto H. Anti-hepatitis B surface immunoglobulin reduction in early postoperative period after liver transplantation in hepatitis V virus-positive patients. *Hepatol Res* 2011; 41(12): 1189-98.

梅下 浩司

1. S. Kobayashi, H. Nagano, S. Marubashi, H. Wada, Y. Takeda, H. Eguchi, M. Tanemura, K. Umeshita, Y. Doki, M. Mori. Successful adult ABO incompatible living liver transplantation: experience with double infusion through the hepatic artery and portal vein. *Hepato-gastroenterol* 58: 503-507, 2011.
2. S. Marubashi, K. Dono, H. Nagano, S. Kobayashi, Y. Takeda, K. Umeshita, M. Monden, M. Mori. Efficacy of minimal dosage of calcineurin inhibitor for living donor liver transplant recipients with postoperative renal dysfunction. *Hepato-gastroenterol* 58: 508-511, 2011.
3. 師岡友紀、梅下浩司、萩原邦子、小川 馨. 生体肝ドナーの術後 quality of life を構成する要素. *移植* 46(2-3): 147-153, 2011.

近藤 丘

1. Fujino N, Kubo H, Suzuki T, Ota C, Hegab AE, He M, Suzuki S, Suzuki S, Suzuki T, Yamada M, Kondo T, Kato H, Yamaya M: Isolation of alveolar

- epithelial type II progenitor cells from adult human lungs. *Laboratory Investigation* 91, 363-378(2011).
2. Oishi H, Okada Y, Kikuchi T, Sado T, Noda M, Hoshikawa Y, Sakurada A, Endo C, Kondo T: The Intensity of Bronchiolar Epithelial Cell Injury Caused by an Alloimmune Response Is Ameliorated by Transbronchial Human Interleukin-10 Gene Transfer in a Rat Model of Lung Transplantation. *Surgery Today* 41:1458-1460(2011).
3. Maeda S, Okada Y, Sakurada A, Sado T, Ohishi H, Kondo T: Surgical treatment for locally advanced lung cancer in a human immunodeficiency virus-infected patient. *General Thoracic and Cardiovascular Surgery* 59(12):822-825, 2011.
4. 近藤 丘: わが国における肺移植の現状とその課題. *今日の移植* 24 (4) 379-388. 2011.7
5. 近藤 丘: わが国におけるレシピエント移植コーディネーターの理念の構築とそれに基づく教育と制度の確立. *移植* 46 (2・3) 96-103. 2011.6.

後藤 満一

1. Suzuki H, Gotoh M, Sugihara K, Kitagawa Y, Kimura W, Kondo S, Shimada M, Tomita N, Nakagoe T, Hashimoto H, Baba H, Miyata H, Motomura N. Nationwide survey and establishment of a clinical database for gastrointestinal surgery in Japan: Targeting integration of a cancer registration system and improving the outcome of cancer treatment. *Cancer Science.* 102 (1) :226-230, 2011.
2. Anazawa T, Sato Y, Saito T, Tsuchiya T, Kenjo A, Kimura T, Haga J, Miyake M, Waguri S, Hazama A, Gotoh M. Improved islet yield and function by use of a chloride channel blocker during collagenase digestion.

- Transplantation. 92(8) :871-7, 2011.
- Saito T, Ohashi K, Utoh R, Shimizu H, Ise K, Suzuki H, Yamato M, Okano T, Gotoh M. Reversal of Diabetes by the Creation of Neo-islet Tissues into a Subcutaneous Site Using Islet Cell Sheets. Transplantation 92(11) : 1231-1236, 2011.
 - 穴澤貴行, 後藤満一. 1型糖尿病の臨床：エビデンスに基づいた診断と治療治療：移植医療. 池上博司 編. 医学出版. 東京, 93-100, 2011

福嶋 教偉

- 福嶋教偉, 小野安生, 石川司朗, 他, 臓器移植委員会. 臓器移植委員会報告 小児の心
- 福嶋 教偉, 小野 安生, 石川 司朗, 市川 肇, 上野 高義, 岡田 克典, 小垣 滋豊, 小林 俊樹, 清水 美妃子, 高室 基樹, 伊達 洋至, 田村 真通, 津田 悦子, 富田 英, 西川 俊郎, 村上新, 森田 茂樹, 安田 東始哲, 脇 研自, 佐野 俊二, 小川 俊一, 佐治 勉, 中西 敏雄 臓器移植委員会報告：小児の心臓移植・肺移植の実施に向けて 日本小児循環器学会雑誌 27(3) 150-159 2011
- 福嶋教偉. 改正法施行後の小児心臓移植の現状と課題 日本小児循環器学会雑誌 27(3) 118-120 2011

学会発表

- 福嶋教偉. ここまで到達した小児の臓器移植 外科医からのメッセージ。小児心臓移植の現状。日本小児科学会 114 東京 2011 8. 12-14
- 福嶋教偉. 改正臓器移植法 この一年 大阪府医師会 23(2) 大阪 2011 3. 17
- 福嶋教偉. 臓器移植法改正後の臓器提供・心臓移植の現状と課題 日本心臓病学会 59 神戸 2011. 9. 23-25
- 福嶋教偉. 我が国における小児心臓移植の現状と課題 日本小児心筋疾患学会 20 東京 2011 11. 19

- N Fukushima, M Ono, S Saito, Y Saiki, S Kubota, Y Tanoue, S Konaka, J Ashikari Japanese strategies for maximizing heart and lung availabilities: Experience from 100 consecutive brain dead donors. ISHLT2011 San Diego 2011 4. 13-16

小野 稔

- Kawashima D, Ohno T, Kinoshita O, Motomura N, Kiyosue A, Fujita H, Ando J, Ohtomo K, Shiga T, Kinugawa K, Hatano M, Yao A, Nishimura T, Endo M, Kato N, Hirata Y, Kyo S, Ono M, Nagai R (2011): Age and preoperative total bilirubin level can stratify prognosis after TOYOB0 left ventricular assist device implantation. Cir J 75, 121-128
- Kawashima D, Ohno T, Kinoshita O, Motomura N, Kiyosue A, Fujita H, Ando J, Ohtomo K, Shigeeda T, Kato S, Kadowaki T, Nagai R, Takamoto S, Ono M (2011): Prevalence of Vitreous Hemorrhage Following Coronary Revascularization in Patients With Diabetic Retinopathy. Circ J 79, 329-335
- Kurihara C, Ono M, Nishimura T, Saito A, Taketani T, Hisagi M, Nawata K, Kinoshita O, Morota T, Motomura N, Kyo S (2011): Use of DuraHeart support for more than 1 year as the first successful bridge to heart transplantation in Japan. J Artif Organ 14, 67-69
- Hatano M, Kinugawa K, Shiga T, Kato N, Endo M, Hisagi M, Nishimura T, Yao A, Hirata Y, Kyo S, Ono M, Nagai R (2011): Less Frequent Opening of the Aortic Valve and a Continuous Flow Pump Are Risk Factors for Postoperative Onset of Aortic Insufficiency in Patients With a Left Ventricular Assist Device. Circ J 75:1147-55
- Matsubara TJ, Iwata H, Shiga T,

Hatano M, Yao A, Ono M, Kinugawa K,
Hirata Y, Nagai R (2011):
Progressive coronary
artery-pulmonary artery fistula
after size-mismatch cardiac
transplantation. ASAIO J 57, 346-7

上野 豪久

1. Ueno T, Wada M, Hoshino K, Yonekawa Y, Fukuzawa M.: Current status of intestinal transplantation in Japan. Transplantation Proceedings. 2011; 43(6): 2405-7
2. 上野豪久、福澤正洋. 小腸移植の術後管理. 小児外科. 2011; 43
3. 齊田芳久, 上野豪久. 小腸. 消化器外科ナーシング. 2011; 16(1): 46-54
4. 上野豪久. 日本の小腸移植の現状と今後の展望. 移植. 2011; 43(1):45-49
5. 上野豪久. 福澤正洋. 本邦小腸移植症例登録報告. 移植. 2011; 46(6):559-561

学会発表

1. 上野豪久. 各臓器移植の現状：小腸
日本移植学会総会. 仙台 2011年10月6日
2. 上野豪久, 長谷川泰浩, 橘真紀子, 井原欣幸, 高間勇一, 日山智史, 神山雅史, 近藤宏樹, 虫明聡太郎, 福澤正洋. 小腸移植後9年目に慢性下痢と体重減少を認め免疫抑制剤の減量で改善した1例. 日本小腸移植研究会. 熊本. 2011年3月12日
3. 上野豪久, 井原欣幸, 高間勇一, 上原秀一郎, 正嶋和典, 曹英樹, 福澤正洋. 胆道閉鎖症終末期における中心静脈栄養法の効果. 日本小児外科学会. 東京.

II. 腎移植電子登録システム (JARTRE-W)

JARTRE-W 腎移植電子登録システム 操作マニュアル 2012年度3月版

操作マニュアル

2012年3月版

JARTRE-W

腎臓移植症例登録システム

株式会社日本アルトマーク

目次

1. ログイン.....	3
2. 腎臓移植症例一覧.....	4
3. 症例の新規登録.....	7
4. 症例の編集.....	8
5. (1) 初回詳細登録(生体腎の場合).....	9
5. (2) 初回詳細登録(献腎の場合).....	11
5.1 レシピエント情報/ドナー情報の登録.....	13
5.2 組織適合性/感染症の登録.....	14
5.3 術前(レシピエント)の登録.....	16
5.4 (1) 術前(ドナー・生体腎)の登録.....	18
5.4 (2) 術前(ドナー・献腎)の登録.....	21
5.5 (1) 手術(生体腎)の登録.....	24
5.5 (2) 手術(献腎)の登録.....	25
5.6 免疫抑制剤(導入期)の登録.....	26
6. レシピエント追跡調査一覧.....	27
6.1 レシピエント追跡調査情報の編集.....	28
6.2 レシピエント追跡調査—追跡データの登録.....	29
6.3 レシピエント追跡調査—患者予後情報の登録.....	30
6.4 レシピエント追跡調査—移植腎予後情報の登録.....	32
6.5 レシピエント追跡調査—免疫抑制剤情報の登録.....	33
6.6 レシピエント追跡調査—合併症等情報の登録.....	34
6.7 レシピエント追跡調査—備考情報の登録.....	36
7. ドナー追跡調査一覧.....	37
7.1 ドナー追跡調査情報の編集.....	38
7.2 ドナー追跡調査—追跡データの登録.....	39
7.3 ドナー追跡調査—ドナー予後の登録.....	40
7.4 ドナー追跡調査—ドナー所見の登録.....	42

1. ログイン



- ① 日本腎移植症例登録システム（JARTRE-W）にアクセスします。
<https://jartre-w.ultmarc.co.jp/>
- ② ログイン画面でユーザー名（ユーザーID）を入力します。
- ③ ログイン画面でパスワードを入力します。
- ④ 「ログイン」ボタンをクリックします。

- ⑤ 画面右上の「マニュアル」ボタンから、操作マニュアルをダウンロードできます。
（操作マニュアルは、ログイン後の画面からも同様の操作でダウンロード可能です）

<注意事項>

- JARTRE-W の動作確認済みのブラウザは下記の通りです。
 - ・ Internet Explorer 7 / Internet Explorer 8 / Internet Explorer 9
 - ・ Firefox9 / Firefox10
 - ・ Safari 5.1
- 初回ログイン後に、次ページのパスワード変更手続きに従いパスワードを変更してください。
- パスワードは 3 回連続で間違えるとロックされます。
パスワードがロックされた場合や、パスワードを失念された場合は、腎移植集計センターへお問合せ下さい。
- 操作その他でご不明な点がある場合は、腎移植集計センターへお問合せ下さい。
電話 : 03-5842-2581
メール : transplant@crsu.org

2. 腎臓移植症例一覧

ログイン後、「腎臓移植症例一覧」画面が表示されます。

日本腎臓移植登録システム JARTRE-W								⑦ 白拍子表示: user1@御堂筋病院 ログアウト 症例一覧 マニュアル			
::腎臓移植症例一覧		症例一覧						⑧ ⑨ ⑩			
移植登録ID	カルテ番号		イニシャル		移植腎の種類	移植日	移植後経過年月	⑪			
	レシピエント	ドナー	R	D				②	③	④	⑤
30051	R000052	D000052	A.B	A.A	生体腎	2008/05/25	3年9ヶ月	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30048	0000048	0000148	X.S	L.F	献腎(心停止)	2005/02/22	7年	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30046	0000046	0000146	V.M	B.R	献腎(脳死)	2003/12/20	8年2ヶ月	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30044	0000044	0000144	T.G	R.D	生体腎	2001/10/18	10年4ヶ月	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30042	0000042	0000142	R.A	H.P	献腎(心停止)	2010/08/16	1年6ヶ月	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30040	0000040	0000140	P.U	X.B	献腎(脳死)	2008/06/14	3年8ヶ月	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30038	0000038	0000138	N.O	N.N	生体腎	2006/04/12	5年10ヶ月	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査
30036	0000036	0000136	L.I	D.Z	献腎(心停止)	2004/02/10	8年	症例編集	初回詳細登録	R追跡調査	D追跡調査

<症例一覧画面>

① 「新規症例登録」ボタン

新規症例を登録時にクリックします。「腎臓移植症例登録」画面に遷移します。

詳しくは「3. 症例の新規登録」を参照してください。

② 「症例編集」ボタン

登録した症例の編集時にクリックします。「症例編集」画面に遷移します。

詳しくは「4. 症例の編集」を参照してください。

③ 「初回詳細登録」ボタン

初回詳細情報を登録時にクリックします。「初回詳細登録」画面に遷移します。

詳しくは「5. 初回詳細登録」を参照してください。

④ 「R追跡調査」ボタン

レシピエント追跡調査を登録時にクリックします。「レシピエント追跡調査一覧」画面に遷移します。詳しくは「6. レシピエント追跡調査一覧」を参照してください。

⑤ 「D追跡調査」ボタン

ドナー追跡調査を登録時にクリックします。「ドナー追跡調査一覧」画面に遷移します。

詳しくは「7. ドナー追跡調査一覧」を参照してください。

⑥ 現在の画面名称が表示されます。

⑦ ログインユーザーの情報が表示されます。

⑧ システムからログアウトする時にクリックします。ログイン画面が表示されます。

⑨ 「症例一覧」画面に戻る場合にクリックします。

⑩ 操作マニュアルをダウンロード（表示）する時にクリックします。

操作マニュアルをダウンロード（表示）できます。

- ⑪ 症例一覧画面から症例を検索する時にクリックします。
 クリック後に検索条件入力エリアが表示されます。



<検索条件入力エリア>

- ⑫ 検索したい移植登録 ID を入力します。
 ⑬ 検索したい移植日を入力します。
 直接入力以外に、カレンダーのアイコンをクリックし日付を選択することも可能です。
 (カレンダーアイコンがある全ての日付入力項目で共通です)



- ⑭ 検索したいカルテ番号を入力します。
 ⑮ 検索したい症例の状態をチェックします。複数をチェックすることも可能です。
 ⑯ 「検索」ボタン
 ⑫から⑮までの検索条件を入力した後に、「検索」ボタンをクリックすると検索結果が症例一覧に表示されます。
 ⑰ 「閉じる」ボタン
 検索条件入力エリアの非表示にする場合にクリックします。

<一覧表示について>

- 症例一覧に表示されるデータは、自施設で実施された症例のみです。
- 一覧情報は、移植登録 ID の降順（登録が新しい順）で初期表示されます。
- 一覧表示項目をクリックすることで、その項目の昇順・降順に切り替えて表示できます。
- 一覧画面を一番下までスクロールした際、対象のデータが存在する場合は、自動的にその下にデータを追加して表示されます。

<ビックリマーク表示について>

特定の条件に該当する場合、腎移植症例一覧画面のボタンにビックリマークが表示されます。各ボタンのビックリマーク表示条件は下記の通りです。

- 「初回詳細登録」ボタン



初回詳細登録（レシピエント情報／ドナー情報、組織適合性／感染症など）の必須入力項目に未入力項目がある場合に、ビックリマークが表示されます。

- 「R 追跡調査」ボタン



レシピエント追跡調査のレコードが自動生成された後、レシピエント追跡調査の必須入力項目に未入力項目がある場合に、ビックリマークが表示されます。

- 「D 追跡調査」ボタン



ドナー追跡調査のレコードが自動生成された後、ドナー追跡調査の必須入力項目に未入力項目がある場合に、ビックリマークが表示されます。

3. 症例の新規登録

症例一覧画面右上メニューの「新規症例登録」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

日本腎移植登録システム JARTRE-W

ログイン中: poweruser1@中央病院 | ログアウト | 症例一覧

腎移植症例登録 症例一覧 > 登録 症例一覧

腎移植症例

施設名 中央病院

←ログインユーザーの所属施設が表示されます。

移植腎の種類※ 生体腎 献腎(心停止) 献腎(脳死)

←移植腎の種類を一つ選択します。

移植日※

←移植日を入力します。カレンダー選択も可能です。

移植回数※ 初回 2回目 3回目 4回以上

←移植回数を選択します。

レシピエント

←下記のレシピエント情報を入力します。

施設内カルテ番号※

- 施設内カルテ番号

イニシャル※

- レシピエントのイニシャル

性別※ 男 女

- レシピエントの性別（男女どちらかを選択します）

生年月日※

- レシピエント年齢（生年月日から自動計算されます）

年齢

ドナー

←下記のドナー情報を入力します。

施設内カルテ番号※

- 施設内カルテ番号

イニシャル※

- ドナーのイニシャル

性別※ 男 女

- ドナーの性別（男女どちらかを選択します）

生年月日※

- ドナーの年齢（生年月日から自動計算されます）

年齢

登録 キャンセル

① ②

©2011 Ultmarc, Inc.

① 「登録」ボタン

入力項目に入力後にクリックします。クリックすると入力した内容がシステムに登録されます。初回詳細登録画面に遷移します。

② 「キャンセル」ボタン

画面に入力した内容をシステムに登録しない場合にクリックします。

画面で入力した内容はシステムに登録されません。腎移植症例一覧画面に遷移します。

- 項目名の右横に「※」が付いている項目は必須入力項目です。必ず入力、選択してください。
- 入力内容が不明の場合は、選択肢では「不明」を選択し、テキストボックスでは「-（ハイフン）」を入力してください。

4. 症例の編集

日本腎移植登録システム JARTRE-W ログイン中: poweruser1@中央病院 | ログアウト | 症例一覧

ID 82 :: 腎移植症例更新 症例一覧 > 初回詳細登録 > 編集 初回詳細登録 > 症例一覧

腎移植症例

施設名	中央病院
移植腎の種類*	<input checked="" type="radio"/> 生体腎 <input type="radio"/> 献腎(心停止) <input type="radio"/> 献腎(脳死)
移植日*	<input type="text" value="2005/11/27"/>
移植回数*	<input type="radio"/> 初回 <input type="radio"/> 2回目 <input checked="" type="radio"/> 3回目 <input type="radio"/> 4回以上
レシipient	
施設内カルテ番号*	<input type="text" value="R000082"/>
イニシャル*	<input type="text" value="EN"/>
性別*	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
生年月日*	<input type="text" value="1900/01/14"/>
年齢	112歳
ドナー	
施設内カルテ番号*	<input type="text" value="D000082"/>
イニシャル*	<input type="text" value="U.C"/>
性別*	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
生年月日*	<input type="text" value="1889/10/14"/>
年齢	122歳

①

②

① 「更新」ボタン

入力項目を変更後（編集後）にクリックします。
クリックすると入力した内容がシステムに登録されます。
初回詳細登録画面に遷移します。

② 「キャンセル」ボタン

画面に入力した内容をシステムに登録しない場合にクリックします。
画面で入力した内容はシステムに登録されません。症例一覧画面に遷移します。

- ・項目名の右横に「※」が付いている項目は必須入力項目です。必ず入力、選択してください。
- ・入力内容が不明の場合は、選択肢では「不明」を選択し、テキストボックスでは「-（ハイフン）」を入力してください。